

安祥寺中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

目指す子ども像

「次代をたくましく生き抜く力をもつ子ども」

- ・自ら課題を見つけ、進んで学ぶ子ども
- ・意欲的に取り組み、やり切る子ども
- ・しっかりとあいさつのできる子ども
- ・自分、人、モノを大切にする子ども
- ・健康、安全に気を付ける子ども

3rd ステージの目標

中2・中3

自らの将来と次代を切り拓く
子どもの育成

- かंगाえて行動する子
- がんばってやり抜く子
- やさしい心をもつ子
- けんめいに鍛え、
けっかをだす子

2nd ステージの目標

小5～中1

自ら学び、人間性豊かにたくましく
生きる子どもの育成

- 意欲的に、困難を乗り越え
がんばる子
- 相手意識をもって話す子
- 協力し合い、学び合う子
- 思いやりをもって支え合う子
- 自分・人・モノを大切にする子

1st ステージの目標

小1～小4

自ら学び、心優しく
たくましく生きる子どもの育成

- しっかり聞き、しっかり考え、
しっかり話す子
- 最後までがんばる子
- 思いやりのある優しい子
- 人・モノを大切にする子
- 健康、安全に気を付ける子

子どもたちにつけたい力

自己を高める力

～主体性、社会性を高め、自分らしく生きることを探る～

- ・社会常識や人間関係の大切さを理解し、積極的に他者との関係を築く力
- ・集団の中での自分の役割を把握し、積極的に行動する力
- ・より良い生き方をめざす上での課題を見出し、主体的に解決する力
- ・生き方や進路についての情報を収集・整理・活用し、体験を通して勤労の意義や働く人々の様々な思いを理解する力
- ・自分の特徴と将来の目標を結び付け、自分にふさわしい進路を選択する力

よりよい自己を育てる力

～成長を確かめたり、考えたことを実践したりして、
より良い自分をつくる～

- ・自分の成長を確かめながら、意欲や自信を高めていく力
- 学ぶ力** ～気付きや課題の質を高め、自分の考えを深める～
- ・社会的事象を様々な角度から見つめ直す力（課題発見・追究力）
- ・自分の視点を持ち、問題解決の方法や課題追究の見通しをもつ力（解決力）
- ・自分の思いや考えを深めながら、効果的に伝える力（表現力）
- ・見方・考え方を働かせ、つなげさらによいものをつくろうとする力
- ・自尊感情、自己肯定感を高め、少しの困難に負けず、乗り越えていく力

自己を見つめ、自分の良いところを知る力

・自分の良いところを知り、より良い自分に向かって努力しようとする能力

学ぶ力

～主体的に係わり、自分の思いや考えをもって 課題解決に向かう～

- ・知りたい、見つけたい、より良くなりたいと思う課題発見力
- ・問題解決に向かって、見通しをもつ力
- ・友達のよい考えを認め、お互いに学び合う力（つなげる力）
- ・自分の思いや考えをもって聞く、比べながら聞く力
- ・知ったことや考えたことを順序よく話したり、まとめたりする力
- ・自尊感情・自己肯定感を高め、チャレンジする力

人・モノ・ことに かかわる力

～様々な考え方や異なる視点に
ふれ、気付きを高める～

- 人 人間関係を豊かにするコミュニケーション力
- 人 協力し合い、支え合う態度を身につけ、規律ある生活ができる力
- 人 相手の立場になって考え、行動できる力
- 人・モノ・こと 伝統・文化・自然・地域を愛し、大切にする力

～様々な考え方や異なる視点に
気付き、良さを知り互いに認め
合う～

- 人 気持ちのよい挨拶を通して、気持ちのよい人間関係を築いていく力
- 人 さまざまな人に積極的にかかわりながら、他者を理解する力
- 人 相手の立場を理解し、助け合い、様々な考えを受け入れたり良いところを取り入れたりする力
- 人・モノ 様々な事象に興味・関心をもって向き合おうとする意欲（学びに向かう力）
- 人・モノ 地域や地域の人に積極的にかかわりながら、他者を理解する力
- 人・モノ・こと 郷土・地域愛を持ち、地域の文化や伝統を大切にする力

地域との連携と協働

各校と地域諸団体、小中4校 PTA 役員、4校学校運営協議会

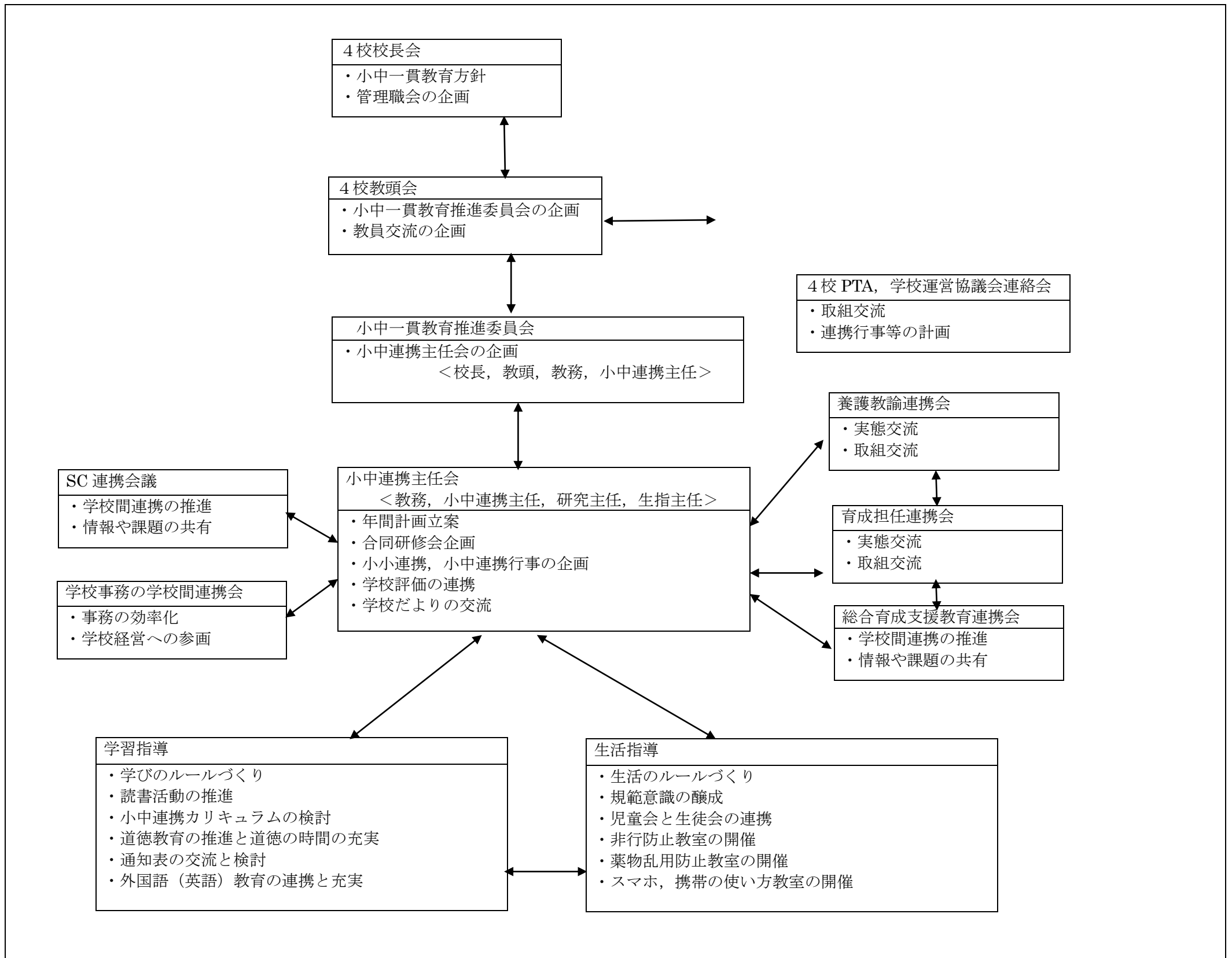
軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力		「次代をたくましく生き抜く力」		○他者や社会とかかわる力		○自ら学び成長する力		○自己を高める力	
学年または学年区分ごとにめざす姿									
身近な地域や環境の中で、様々な方のお世話になっていることに気付く。分からないことを尋ねながら、解決しようと努力する。気付いたことや見つけたことを発表する。協力して働くことや取り組むことの大切さや楽しさがわかる。		地域や生活の中で、役に立つことや自分ができることを考える。課題を解決する計画を立てて、取り組むことができる。日常生活や学習と将来の夢や生き方との関係に気付き、今できることやしなければならないことを考え、努力しようとする。		課題解決のための調査や情報収集等、適切な計画を立てて取り組むことができる。多様な方法を考え、主体的に解決する。獲得した情報に創意工夫を加え、より良い発信をする。体験を通して、働くことの大切さや苦勞・楽しさ、社会生活における役割等が理解できる。		社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を身につけ、進路の選択・決定をする。			
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)	
取組・活動									
学校たんけん	まちたんけん	地域探検	エコライフチャレンジ (環境学習)	環境学習 仕事調べ わくわく WORK LAND	地域探究 平和学習	山科の伝統・文化・地域の魅力 (探究学習活動)	生き方探究チャレンジ体験	進路選択と実現	
園児との交流	お店めぐり	お年寄りとの交流 (老人ホーム訪問)	モノづくりの殿堂学習	ジュニア京都検定	ジュニア京都検定				
				あいさつ運動 (児童会)					
			古典の日						
						縦割り活動 集団学び			
＜中学校ブロックとしての取組＞ 幼児や異学年、保護者や地域の人々など様々な人と交流することを通して、児童の学ぶ意欲を高め、さらに言語活動の充実を図る。 児童にとって身近にある伝統的なものや文化に触れること、そしてそれを伝えてくださる地域の方やお年寄りとの関わりをもつことによって、地域社会に愛着を感じ、地域や伝統・文化を大切にしようとする態度を育てる。		地域の方やお年寄り、障害のある方などとの関わりを通して、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を養うとともに、誰もが住みやすい町づくりについて考える。自らが調べたり、考えたりして分かったことをまとめ、分かりやすく発表できる力を養う。互いの意見を聞き合い、より良いものにしていこうとする態度を養う。		体験活動などを通して、生活は人々がそれぞれの役割を分担し、お互いに支え合い補い合う共存社会の中で成り立っていること、社会の仕組みなどを具体的に理解させ、自らの生き方について考えさせる。環境や平和について、自らができることを考え、話し合う活動を行うことで、意識と理解を高め、具体的な行動を促す。		地域の魅力に触れ、地域の一員としての誇りをもつ。「生き方」について考えを広め、自分の未来について考える。		職場体験を通して、自分の適性や将来の仕事について考えさせる。職場体験を通して得たものを発表・報告することで、自己の課題への認識を深めさせる。	

学びの約束・ルール

項目	小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
話し方・聞き方・話し合いのしかた ポスター発表などで活用	全員に聞こえる声の大きさで話す。 話をする人の方を向いて最後まで聞く。		相手や場に応じて話す。うなずくなどして、自分の考えと比べながら大事なことを落とさず聞く。話し合いのしかたを知り、話し合う。		目的や意図をはっきりさせて相手に伝わるように分かりやすく効果的に話す。 相手の意図をつかみながら必要に応じてメモを取りながら聞く。 効果的な話し合いをすることができる力を育む。			相手の意見を受けて、自分の考えを的確に表現する。 話をする人を見て、正しい姿勢で、必要に応じてメモを取り、自分の考えと比較しながら聞く。 探究につながる話し合いができる力を育む。	
読み方	姿勢を正しくして大きな声で読む。		姿勢を正しくしてはっきり大きな声で読む。		姿勢を正しくして相手を意識して読む。			姿勢を正しくして、相手を意識し、その場に応じた読み方をする。	
書き方 自学自習・ノート帳 定につながる	マス目からはみださないように、正しく丁寧な字で書く。 行をかえて、見やすく書く。		マス目や行をほどよくあけて、見やすく書く。 大事なところは線を引いたり囲んだりする。		学習内容や大事な事柄が見やすいノートを作る。 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイント等を付け加える等して、見やすく分かりやすくまとめる。			学習内容を整理し、見直しに役立つノートを作る。 先生や友だちの発言、自分の考え、学習のポイント等を付け加える等して、見やすく分かりやすくまとめる。	
あいさつ・言葉づかい	大きな声であいさつや返事をする。 ・正しいあいさつや返事の仕方を理解する ・あいさつや返事をする時は、大きな声で元気よく行う				相手を意識したあいさつや言葉づかいをする。 ・自ら進んであいさつをし、低学年の良い見本となる ・相手を見て、しっかりとあいさつをする。 ・丁寧語、尊敬語、謙譲語を理解し、使うようにする。			その場に応じたあいさつや言葉づかいをする。 ・場面や相手の状態を意識する ・丁寧語、尊敬語、謙譲語を適切に使う ・相手に伝わることを意識する	
学習準備・学習時間	自分で学習の準備ができる。 学習の始まりの時間を守る。				学習時間の開始時間には、きちんと学習が始められる準備ができている。(3分前には遊びをやめて次の学習の準備行動にうつる。)			5分前行動を意識し学習の準備を行うとともに50分間集中して授業にのぞむ。	

小中一貫教育推進体制



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や、学校評価アンケート項目の統一など、家庭・地域との連携・協力に向けた取組について、記載してください。

- ・学校だよりにて小中一貫教育の取組を周知する。
- ・学校評価アンケート項目の統一を図る。
- ・学校運営協議会の部会整理等を図る。